

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 532-01-01

事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道の駅しらとりの郷・羽曳野		連絡先		内線2730	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7	商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項	1	商工費
対象(誰を・何を)	施設						
事業の概要	目的(どうしたいか)	安全で快適に施設を利用できるように保つ。					
	手段(事業内容)	環境整備(ごみ拾い、草刈、樹木管理、交通誘導、施設修繕等)、アジサイ・サクラ・園路のライトアップ、誘導員による駐車場整備、周辺道路の渋滞緩和につながる交通誘導対策(警備員の配置)					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	<b>【事業費】</b> 消耗品費、上下水道料、電気料金、除草手数料、樹木管理手数料他  <b>【特定財源】</b> 電柱使用料 42千円 駐車場使用料 2,386千円 しらとりの広場使用料740千円 市有財産貸付収入 11,431千円 周辺道路警備負担金 2,006千円	
当初予算額	事業費	31,433	30,232	29,686		
決算額	事業費	26,820	23,629	-		
	特定財源等	16,140	16,605	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	施設面積	単位	㎡	
指標の説明	管理している面積			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		41,585	41,585	41,585
実績		41,585	41,585	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	過失事故件数	単位	件	
指標の説明	施設内での事故発生件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		0	0	0
実績		0	0	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価	<b>改善して継続</b>
(担当部局による総合評価の理由や課題) 来場者が、安全に快適に過ごせるよう環境維持に努める必要があるとともに、管理運営方法の改善が必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和4年度4月から指定管理者による管理運営に移行の予定である。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 532-01-02

事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道の駅しらとりの郷・羽曳野		連絡先		内線2730	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	7	商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		項	1	商工費
対象(誰を・何を)	来場者						
目的(どうしたいか)	羽曳野市の魅力を感じる施設づくりを目指すとともに、快適に利用できる施設整備を進める。						
手段(事業内容)	・アジサイやサクラに特化した名所づくりを通して来場者増加を狙う ・BBQ広場運営 ・Wi-Fiの利用(BBQ広場周辺) ・電気自動車急速充電器利用対象者の拡大 ・広告事業						

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
当初予算額	事業費	494	672	622
決算額	事業費	472	362	-
	特定財源等	2,038	1,618	-

≪主な内訳(令和2年度決算)≫

【事業費】	
電気自動車急速充電器電気料金	217千円
急速充電器運用委託料	88千円
急速充電器保守委託料	57千円
【特定財源】	
BBQ広場使用料	322千円
急速充電器使用料	452千円
公告設置使用料	844千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	施設開場日	単位	日	
指標の説明	年間の開場日数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		313	314	309
実績		313	311	-

≪事業の参考数値等≫

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	来場者数	単位	人	
指標の説明	BBQ広場利用者及び、各店舗のレジ通過者の合計			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		838,940	833,555	836,750
実績		833,555	836,750	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 来場者が、安全に快適に過ごせるよう環境維持に努める必要があるとともに、管理運営方法の改善が必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和4年度4月から指定管理者による管理運営に移行の予定である。